

## 【平成31年度実技入試問題】

台の上に置かれているものを鉛筆でデッサンしなさい。

※ 台の上に行ける陰影も描いてください。

画用紙F 8号サイズ (時間90分)

## &lt;注意点&gt;

- ・画用紙の使用はタテ・ヨコ自由。イーゼルの高さや位置は少し変えてもよい。
- ・ほぼ実物大に描き、モチーフの中にある陰や台に映った影も入れる。
- ・使用する鉛筆の種類や本数に制限はない。

## &lt;解説&gt;

- ・試験は中央に置いた低めの台にモチーフを置き、その周りに6、7人の受験生がイーゼルを使って描く例年通りの形式である。どこに座っても有利不利がないように座席には配慮した。
- ・出題したモチーフは、基本的な形態であること、普段よく目にするものを軸に選定した。今年度は、基本形が直方体である水色のケースと、球体である白色の電球、レモンの組み合わせである。球体は中心軸を意識して対称であること、ケースは遠近感を意識して手前と奥の辺の長さが増えることを理解できていれば、正確な形をとることができるであろう。同一平面上に配置されているという認識を持って陰影をつけることも必要である。電球に写りこむ光や台に落ちる影、レモンの表面のぶつぶつとした質感を丁寧に、粘り強く描き込む受験生が多かった。モチーフの位置関係に注意し、手前のものと奥のものとの距離感の違いをとらえた描き込みがなされていると望ましい。

## &lt;採点の基準&gt;

- ・モチーフをよく観察し、理解できているか。
- ・立体感や空間の表現ができているか。
- ・最後まできちんと描こうと努力しているか。

デッサンの練習をしたら、学校の美術科の先生などに講評していただくことをお勧めします。

